教教人第 1982 号
令和５年３月２日

近畿大学　学長様

横浜市教育委員会
教育長　鯉渕　信也

横浜市教育委員会教育長印

令和５年度実施　横浜市公立学校教員採用候補者選考試験における
特別選考③（大学推薦特別選考）対象者の推薦について（依頼）

日頃から、横浜市の教育行政に御理解・御協力いただき厚く御礼申し上げます。
さて、令和５年度実施　横浜市公立学校教員採用候補者選考試験におきまして、大学推薦特別選考を実施いたします。
つきましては、学生の皆様へお知らせいただき、御推薦いただきたくお願い申し上げます。
なお、教員採用候補者選考試験及び特別選考③（大学推薦特別選考）の詳細につきましては、受験案内（令和５年４月 10 日ホームページ公開予定）、別添の推薦要領及び事務取扱を御覧ください。

## １　推薦人数

(1)　小学校　０名（大学院を含む）
(2)　中学校・高等学校（国語）　１名（大学院を含む）
(3)　中学校・高等学校（数学）　１名（大学院を含む）
(4)　中学校・高等学校（理科）　１名（大学院を含む）
(5)　中学校・高等学校（美術）　１名（大学院を含む）
(6)　中学校・高等学校（技術）　０名（大学院を含む）
(7)　中学校・高等学校（家庭）　０名（大学院を含む）
(8)　中学校・高等学校（英語）　１名（大学院を含む）
(9)　特別支援学校　０名（大学院を含む）

また、次の条件に該当する方については、上記(1)に示す推薦人数とは別に推薦することができます。
ただし、貴大学で小学校の課程認定を受けている場合に限りますので、御注意ください。

| 受験区分 | 対象 | 推薦可能人数 |
|---|---|---|
| 小学校 | 中学校教諭普通免許状（英語）取得（見込を含む）者、高等学校教諭普通免許状（英語）取得（見込を含む）者又は英語に関する一定の級・スコアを有する者 | １名 |

## ２　推薦条件・推薦手続等

上記「１　推薦人数」のほか、別添の推薦要領及び事務取扱を御覧ください。

## ３　書類提出期間

令和５年４月 12 日（水）から５月 10 日（水）まで（令和５年５月 10 日（水）消印有効）

横浜市教育委員会事務局
教職員人事課 任用係 採用担当
電　話　045-671-3246
ＦＡＸ　045-681-1413

令和５年３月２日
横浜市教育委員会事務局
教職員人事課

# 令和５年度実施　横浜市公立学校教員採用候補者選考試験
# 特別選考③（大学推薦特別選考）推薦要領

## １　趣旨

この要領は、令和５年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験特別選考③（大学推薦特別選考）（以下、「特別選考③」という。）の実施において、候補者を大学（大学院）及び教職大学院が推薦するために、必要な事項を定めるものとする。

## ２　選考の対象となる受験区分

(1)　小学校
(2)　中学校・高等学校（国語）
(3)　中学校・高等学校（数学）
(4)　中学校・高等学校（理科）
(5)　中学校・高等学校（美術）
(6)　中学校・高等学校（技術）
(7)　中学校・高等学校（家庭）
(8)　中学校・高等学校（英語）
(9)　特別支援学校

## ３　対象大学

令和２年４月１日から令和５年４月１日において、小学校教諭、中学校教諭（国語、数学、理科、美術、技術、家庭又は英語）又は特別支援学校の、一種若しくは専修免許状取得の課程認定を受けている大学（大学院）又は教職大学院のうち、横浜市教育委員会が定めるもの。

## ４　推薦条件

次の(1)から(6)までの全ての要件を満たす者（中学校・高等学校（英語）で受験する者については、(1)から(7)までの全ての要件を満たす者）で、横浜市公立学校教員を第一志望とし、教師として優れた実践力を発揮することが期待でき、学長が推薦する者。

(1)　「３　対象大学」で定める大学（大学院）又は教職大学院に令和５年４月１日時点で在籍し、令和６年３月31日までに卒業又は修了する見込みの者
(2)　小学校教諭、中学校教諭（国語、数学、理科、美術、技術、家庭又は英語）又は特別支援学校の、一種若しくは専修免許状を有する者又は令和６年３月31日までに確実に取得できる見込みの者
※特別支援学校区分受験者については、特別支援学校教諭一種若しくは専修免許状に加え、小学校教諭又は中学校教諭（教科問わず）の普通免許状を有する者（取得見込みの者を含む。小学校教諭又は中学校教諭の免許状について専修、一種、二種の別は問わない。）
(3)　昭和39年４月２日以降に出生した者
(4)　横浜市教育委員会が求める教師像にふさわしい資質・能力を有する者
(5)　学業成績が優良で、次の基準のいずれかを満たす者
ア　累計ＧＰＡが、満点の70％以上（小数第１位切り捨て）
イ　「優（80～100点）」相当以上の取得単位数が、総取得単位数の50％以上（小数第１位切り捨て）
　ただし、単位認定のみを行う等の理由で評点がない取得単位については、取得単位数及び総取得単位数に含まない。
(6)　地方公務員法第16条及び学校教育法第９条の欠格事項に該当しない者
(7)　次のアからウのいずれかの級・スコアを有する者で、学長が推薦に足ると判断した者。アについては令和５年５月15日までに取得したもの、イ及びウについては、令和３年４月１日から令和５年５月15日までに取得したものを対象とする。
ア　実用英語技能検定準１級
イ　TOEIC　L&R（IP除く）　800点以上
ウ　TOEFL　iBT　80点以上

## 5　推薦の人数

### (1)　小学校

各大学（大学院）における推薦人数は、令和４年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験の小学校区分における、令和４年度卒業見込みの者の最終合格者数に応じて、大学ごとに定める。

また、教職大学院を設置する大学は、大学（大学院）からの推薦とは別に、教職大学院から人数の上限を設けず推薦することができる。

なお、小学校の課程認定を受けている大学は、中学校教諭普通免許状（英語）取得者（取得見込みを含む）、高等学校教諭普通免許状（英語）取得者（取得見込みを含む）又は次のアからケのいずれかの級・スコアを有する者について、大学ごとに定める小学校区分の推薦人数とは別に１名を推薦することができる。

ただし、アについては令和５年５月15日までに取得したもの、イからケについては令和３年４月１日から令和５年５月15日までに取得したものに限る。

○英語に係る免許状、資格・級・スコアによる追加推薦　　1名

| 必要とする資格・級・スコア | | 推薦人数 |
|---|---|---|
| 中学校教諭普通免許状（英語）又は高等学校教諭普通免許状（英語）※ | | １名 |
| ア　実用英語技能検定準１級 | カ　GTEC　1190点以上 | |
| イ　TOEIC L&R（IP除く）　785点以上 | キ　IELTS　5.5点以上 | |
| ウ　TOEIC S&W（IP除く）　310点以上 | ク　TEAP　309点以上 | |
| エ　TOEFL iBT　72点以上 | ケ　TEAP CBT　600点以上 | |
| オ　ｹﾝﾌﾞﾘｯｼﾞ英語検定　160点以上 | | |

※中学校教諭普通免許状（英語）又は高等学校教諭普通免許状（英語）について、専修、一種、二種の別は問わない。

### (2)　中学校・高等学校（国語、数学、理科及び英語）

各大学（大学院）における推薦人数は、令和４年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験の中学校・高等学校区分（国語、数学、理科及び英語）における、令和４年度卒業見込みの者の最終合格者数に応じて、大学ごとに定める。

また、教職大学院を設置する大学は、大学（大学院）からの推薦とは別に、教職大学院から各教科１名を推薦することができる。

### (3)　中学校・高等学校（美術、技術及び家庭）

各大学（大学院）における推薦人数は、令和４年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験の中学校・高等学校区分（美術、技術及び家庭）における、令和４年度卒業見込みの者の最終合格者数に応じて、大学ごとに定める。

### (4)　特別支援学校

各大学（大学院）における推薦人数は、令和４年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験の特別支援学校区分における、令和４年度卒業見込みの者の最終合格者数に応じて、大学ごとに定める。

また、教職大学院を設置する大学は、大学（大学院）からの推薦とは別に、教職大学院から１名を推薦することができる。

被推薦者の有する（取得見込みを含む）特別支援学校教諭普通免許状について、領域は問わない。

なお、受験資格として特別支援学校の普通免許状に加え、小学校教諭又は中学校教諭の普通免許状を有する（取得見込みを含む）ことが必要となるが、小学校教諭又は中学校教諭の免許状について免許の区分・教科は問わない。

## 6　翌年度以降の推薦の人数

被推薦者に欠席者・辞退者が出た場合は、合格者数にかかわらず、翌年度以降の推薦人数を減らす場合がある。

また、被推薦者のうち、採用後の人事考課が著しく低い者がいた場合等にも翌年度以降の推薦人数を減らす場合がある。

7　推薦手続等

(1)　推薦書類の提出

ア　提出書類

各大学において取りまとめの上、受験区分に応じて次の(ｱ)から(ｵ)までの書類を郵送で提出する。

| | 提出書類 | 推薦者又は証明者 | 受験区分 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 小学校 | 中学校・高等学校 | | | | 特別支援学校 |
| | | | | 国語、数学、理科<br>美術、技術、家庭 | | | 英語 | |
| (ｱ) | 推薦書 | 学長（又は学部長） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (ｲ) | 学業成績証明書　※1、※2 | 大学等 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (ｳ) | 下記のいずれか<br>・中学校教諭普通免許状（英語）取得見込証明書<br>・高等学校教諭普通免許状（英語）取得見込証明書<br>・教育職員免許状授与証明書（英語に関するもの） | 大学等 | ○<br>※3 | ― | ― | ― | ― | ― |
| (ｴ) | 英語に係る資格・級・スコアを証明する書類<br>（推薦者が原本を確認した場合は、写し可） | 各試験の実施機関等 | ○<br>※3 | ― | ― | ― | ○ | ― |
| (ｵ) | 大学推薦結果送付書 | ― | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1　推薦書に記載の「学業成績に関する基準」を確認できるものとする。

※2　被推薦者が令和5年4月1日時点で大学院又は教職大学院に在籍している場合は、大学時の学業成績証明書（累計ＧＰＡ又は「優(80～100点)」相当以上の取得単位数が記載されたもの）についても提出を必要とする。

ただし、大学時の学業成績は「4　推薦条件(5)」で定める基準には含めない。

※3　小学校区分における英語に係る資格・級・スコアによる追加推薦者のみ提出を要する。

イ　提出期間

令和5年4月12日（水）～5月10日（水）

※令和5年5月10日（水）消印有効（持込不可）

ウ　提出方法

各大学において取りまとめの上、簡易書留により提出する。郵送に際しては、封筒（角形2号）の表面に「特別選考③提出書類在中」と朱書きし、封筒の裏面に担当部署、担当者名及び連絡先を明記する。

(2)　受験申込

ア　申込方法

被推薦者が、インターネットにより申込みを行う。

イ　申込期間

令和5年4月12日（水）～5月15日（月）午後5時まで

(3)　注意事項

その他の受験区分、選考区分と重複して申し込むことはできない。

8　選考方法及び結果の通知

(1)　提出書類の内容を総合的に審査、選考の結果、相当と認めた者は特別選考③書類選考合格者として、第一次試験の教科専門試験及び一般教養・教職専門試験を免除する。特別選考③の第二次試験の内容は、「令和5年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験受験案内」（令和5年4月10日ホームページ公開予定）を参照すること。

(2)　大学には、6月中旬～下旬に選考の結果を通知する。

(3)　被推薦者には、次のとおり選考の結果を通知する。

ア　合格した者には、受験票に合格した旨を記載して、通知する。

イ　合格しなかった者には、受験票に一般選考で第一次試験を受験することができる旨を記載して、通知する。

(4)　特別選考③書類選考合格者の第二次試験における合否結果は、第二次試験の選考結果発表日以降に、大学及び被推薦者へ通知する。

9　提出先及び問合せ先

横浜市教育委員会事務局　教職員人事課　任用係　採用担当

住所：〒231-0005　横浜市中区本町6－50－10

電話：045-671-3246　FAX：045-681-1413